

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論 I

授業コード： 2230400200

英文科目名称： Public Health Nursing Activities I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	保健師課程必修
担当教員			
◎野口裕子、前川絵里子、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎野口 裕子 前川 絵里子 久保野 裕子 実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】 209 307 共同研究室2</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>【大学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○</p>
------	---

到達目標	<p>1. ライフステージ別の公衆衛生看護活動を理解する。 1) 母子保健福祉活動の理念それに基づく施策・制度を理解するとともに、地域での子育て支援体制づくりにおける保健師の役割を理解する 2) 女性の生涯を通じた健康支援として、思春期、妊娠期、産褥期、更年期各期の特定と保健師の支援方法を理解する 3) 成人・高齢期にある人々の身体的・精神的・社会的側面の現状と健康状態を理解し、生活習慣病予防、介護予防等の保健師活動の展開方法を理解する</p> <p>2. 感染症、災害時の公衆衛生看護活動を発生前からの予防活動および発生時の体制づくりを学ぶ。 1) 感染症に関連する法体系や行政体系を学ぶとともに、感染症予防および発生時の保健師の役割を理解する 2) 災害時の活動体制と保健師の果たす機能・役割について理解する</p>
------	--

授業概要	<p>・ ライフステージの特徴を捉え、ライフサイクルに基づく法体系および行政体系および保健福祉サービスとそ の中で機能する公衆衛生看護活動を学習し、地域で生活する人たちのQOLを高める援助の実際が理解できるよう に構成する。</p> <p>・ 現代の感染症対策における保健師の役割と感染症を予防するための基本原則に基づいた保健指導について提 示する。</p> <p>・ 災害サイクルを理解し、各期に合わせた公衆衛生看護活動のありかたや、保健師は災害予防を地域の健康づ くり活動の中に位置づけ、他機関や地域住民と連携した活動を平常時から実践する必要があることを災害事例 等から学ぶ機会とする。</p>
------	---

授業計画	<p>1-2 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：わが国の母子保健の現状と地域における看護活動を理解する。 学習内容：1. 地域における母子保健システム 2. 母子保健の健康指標と課題 3. 乳幼児の発達課題と育児支援 4. 乳児の発育発達 5. 女性の生涯を通じた健康支援 6. 健康上のリスクを持つ母子への保健指導 7. 子どもの虐待予防とケア</p> <p>備考：野口</p> <p>3-4 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：わが国の成人保健の動向、現状と課題を捉え、成人の健康レベルに応じた公衆衛生看 護活動の実際を理解する。 学習内容：1. 成人保健の動向 2. 成人保健施策と保健師活動 3. 成人期の生活と保健指導 4. 特定健診・特定保健指導</p> <p>備考：久保野</p> <p>5-6 授業内容 授業形態：講義・演習</p>
------	---

	<p>学習課題：わが国の高齢者保健の動向、現状と課題を捉え、高齢者の健康レベルに応じた公衆衛生看護活動の実際を理解する。</p> <p>学習内容：1. 高齢者の保健福祉施策の動向 2. 介護予防の取り組み 3. 要介護高齢者への支援 4. 地域包括的ケア</p> <p>備考：前川</p> <p>7 授業内容 授業形態：講義 学習課題：災害サイクルに合わせた公衆衛生看護活動を理解する。 学習内容：1. 健康危機管理の定義と要因 2. リスクマネジメント 3. 災害サイクルに合わせた公衆衛生看護活動</p> <p>備考：野口</p> <p>8 授業内容 授業形態：講義 学習課題：感染症の発生予防活動と健康回復への保健指導の実際を理解する。 学習内容：1. 主要な感染症についての動向 2. 感染症の予防活動 3. 感染症の集団発生時の対応 4. 結核・エイズ対策と保健師活動</p> <p>備考：前川</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：ライフステージ別公衆衛生看護活動の方法については、すでに学んだ母性、小児、成人、老年、精神看護学の知識を必要とするので復習を十分にできてほしい。感染症に関しては、公衆衛生学を基礎とするので復習を十分にできてほしい。</p> <p>事後学習：ライフステージ別の公衆衛生看護活動ならびに感染症・災害発生後の保健活動において保健師が果たす役割や課題について考察してください。</p>
評価方法、評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験70点+課題30点（課題内訳：ライフサイクル20点+感染症・災害発生時の保健活動10点）として評価する。 ただし、課題の提出状況が悪い場合は、最大10点をめどに減点する。 試験を受けるには、2/3以上の出席が必要（20分以上の遅刻は欠席とみなす）。 試験実施日については、最初の講義時に説明する。
必携図書	<ul style="list-style-type: none"> 標準保健師講座3「対象別公衆衛生看護活動」（医学書院）
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働統計協会（2023）：国民衛生の動向（2023/2024）
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> 必要時、指示する
教員からのメッセージ	<p>市民の生活と健康を守る保健医療福祉の法律や制度は、毎年のように改正が行なわれているため、社会の動きにも目を向けながら興味と関心を持って学習することを期待する。</p> <p>双方向の授業にするために学生とディスカッションしながら授業を展開していく予定である。</p>
オフィスアワー	